

2024

2024



F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP
CERTIFIED BY FIA

Race Report Round 5-6
FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY
3-4. August 2024





Contents

1. 富士スピードウェイ コースガイド
2. FIA-F4 第5戦 - 第6戦 エントリーリスト
3. FIA-F4 第5戦 - 第6戦 予選レポート
4. FIA-F4 第5戦 予選結果
5. FIA-F4 第5戦 グリッド
6. FIA-F4 第6戦 予選結果
7. FIA-F4 第6戦 グリッド
8. FIA-F4 第5戦 決勝レポート
9. FIA-F4 第5戦 決勝結果
10. FIA-F4 第6戦 決勝レポート
11. FIA-F4 第6戦 決勝結果
12. FIA-F4 ポイント スタンディング (ドライバー)
13. FIA-F4 ポイント スタンディング (チーム)

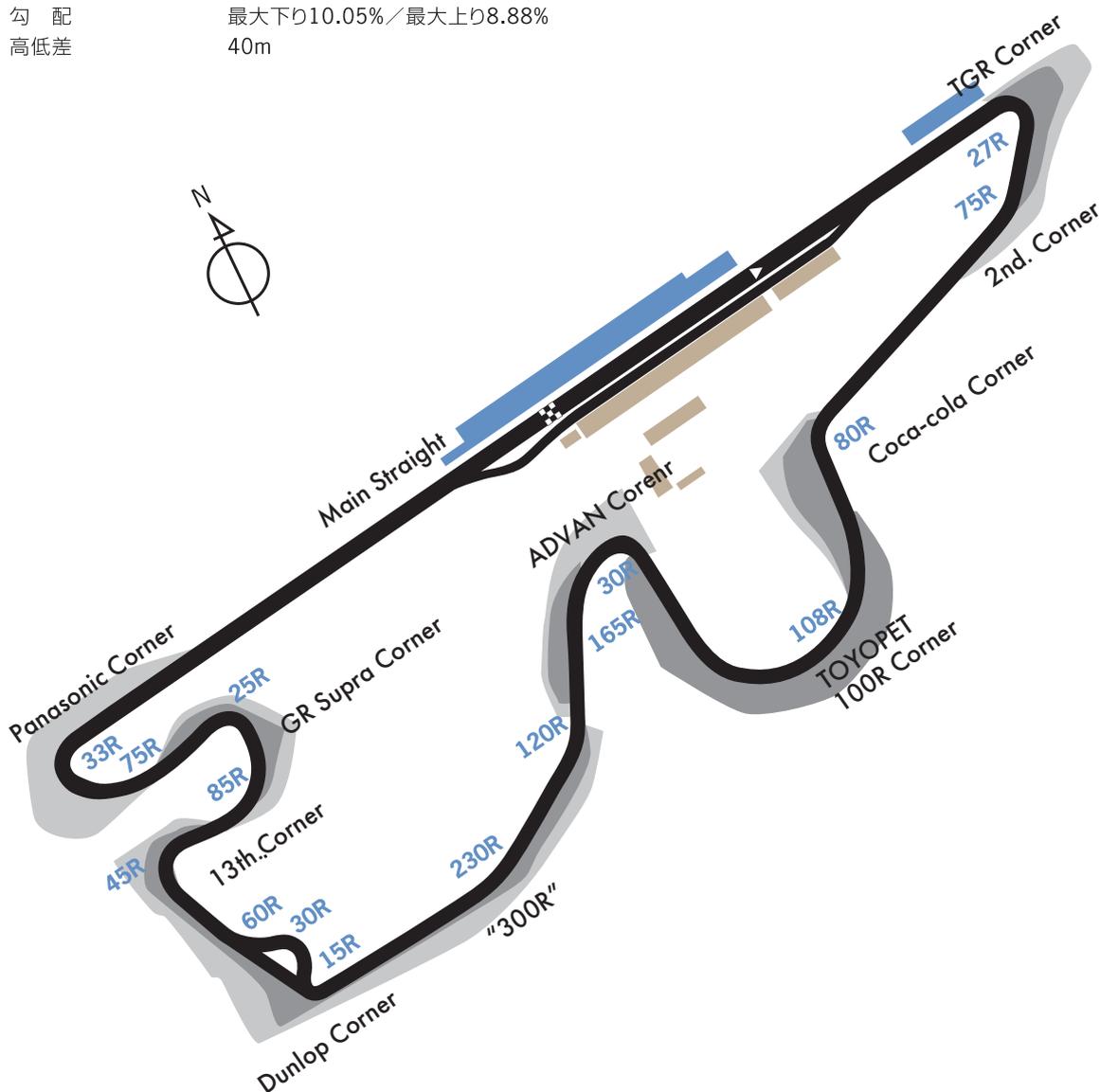
**TOM'S****TORAY**
Toray Carbon Magic**BRIDE****ENDLESS**
Challenge to the Future**FERODO**
RACING**PETRONAS**
Syntium**PFC**
RACING**SEIPRA**
RACING



Fuji International Speedway Course Guide

富士スピードウェイ・コース概要

全 長	4,563m
(ショートカットコース)	4,526m)
幅 員	15~25m
最大直線長	1,475mm
コーナー数	16(左コーナー:6、右コーナー:10)
勾 配	最大下り10.05%／最大上り8.88%
高低差	40m





Entry List

No.	Car No.	Name	Car
チャンピオンクラス			
1	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
2	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4
3	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT
4	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24
5	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24
6	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4
7	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4
8	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4
9	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4
10	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4
11	46	有村 将真/S.ARIMURA	アポロ電工フジタ薬局
12	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP with B-Max Racing
13	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP with B-Max Racing
14	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4
15	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE
16	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4
17	64	Ho Ethan/E.Ho	HELM with TeamKRC
18	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED
19	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team
20	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing
21	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing
インディペンデントクラス			
1	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND
2	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHO
3	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4
4	9	KEN ALEX	BUZZ RACING
5	10	中島 功/I.NAKASHIMA	Rn.SHINSEI.MCS4
6	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4
7	23	YUGO	S2R Racing
8	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON
9	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES
10	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX
11	55	KENTARO	Baum Field F4
12	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4
13	63	鳥羽 豊/Y.TORIBA	HELM MOTORSPORTS F4
14	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワ通商AKILAND
15	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team
16	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND
17	98	IKARI	Bionic Jack Racing





Report: Qualifying Round5-6



洞地遼大が CH クラスでダブルポール獲得！ INDP でも KENTARO がダブルポールをゲット

■チャンピオンクラス予選

約 2 カ月のインターバルを置いて迎えた FIA-F4 選手権の今季第 3 大会、第 5 戦・第 6 戦のレースウィークが開幕、8 月 3 日土曜の午前 7 時 45 分からチャンピオンクラスの公式予選が行われた。

酷暑が伝えられた週末ながら、この日は朝から薄曇り。早朝ということもあり、この公式予選は比較的過ごしやすい気温、そしてドライコンディションでのアタックとなった。

20 台が出走したチャンピオンクラスの公式予選は、いつも通り 20 分間での攻防となったが、早めにアタックを行った村田将輝以外は各車序盤はゆっくり時間を使ってタイヤに熱を入れて行く展開。このため開始から約 10 分間は村田がモニターのトップにつけ、午前 7 時 55 分あたりから徐々に他のドライバーたちが村田の刻んでいた 1 分 47 秒台のタイムに追いつき始め、清水啓伸、白崎稜、森山冬星らが次々にモニターのトップを塗り替えていく。



さらには他車より少し待機してからコースインした野村勇斗、洞地遼大が 1 分 46 秒台中盤のタイムで 1-2 体制を築くことに。

午前 7 時 58 分には、清水が 1 分 46 秒 573 で洞地と野村の間に割ってはいるも、野村が 1 分 46 秒 290 でトップに浮上し、再び HFDP 勢が 1-2 に。しかし直後に梅垣清が 1 分 46 秒 339 で 2 番手にポジションアップ。





Report: Qualifying Round 5-6



さらには午前 8 時ちょうどに森山が 1 分 46 秒 108 でトップに返り咲くと、これに呼応するかのよう洞地が 1 分 46 秒 136 で 2 番手に再浮上を果たすと、翌周には 1 分 45 秒 988 と、ただひとり 45 秒台のタイムを叩き出してモニターの首位に躍り出る。

ライバル勢も午前 8 時 05 分のチェッカーまで精力的なアタックを続け、清水、野村らがタイムアップしたものの、46 秒台前半のタイムにとどまり、そのまま洞地が自身初となるポールポジションを獲得。以下、森山、野村、清水、梅垣、白崎までがトップ 6 という結果となった。

なお、セカンドベストタイムで決する第 6 戦のグリッドでも洞地がポールシッターとなり、森山、野村、清水までの 2 列目は第 5 戦と同じドライバーが並び、5~6 番手には鈴木斗輝哉、大宮賢人が続いている。

■インディペンデントクラス予選

チャンピオンクラスの公式予選に続き、午前 8 時 20 分から行われたインディペンデントクラスの公式予選も、引き続き薄曇りのドライコンディションでのセッションとなった。

こちらは各車序盤から徐々にペースを上げていく様相となる中、まずは鳥羽豊が最初の計測で 1 分 50 秒 259 をマークして首位に。午前 8 時 25 分には木金のトレーニング走行で好調だった DRAGON が 1 分 50 秒 181 で逆転するものの、鳥羽もすかさず 1 分 49 秒 893 で再逆転。しかし、すぐさま IKARI が 1 分 49 秒 612、KEN ALEX が 1 分 49 秒 148 を刻み、トップタイム争いがヒートアップしていくことに。

午前 8 時 26 分、今田信宏が 1 分 49 秒 018 をマークしたモニターのトップに立ったものの、その直後に 1 コーナーでコースアウトを喫しクラッシュしてしまう。このため少しの間黄旗区間が発生も、中断されることはなく各車周回を続行。鳥羽がトップタイムを 1 分 48 秒 511 にまで押し上げる。



鳥羽は午前 8 時 29 分には 1 分 48 秒 358 へとタイムアップ。植田正幸、齋藤真紀雄、KEN ALEX らが次々と 1 分 48 秒台のタイムで鳥羽に迫るが、午前 8 時 31 分に KENTARO が 1 分 48 秒 297 を叩き出し、ついに鳥羽を押さえてモニターの首位に立つ。

しかし上位争いはこれにとどまらず、午前 8 時 33 分には齋藤が 1 分 48 秒 185 を刻んで逆転、トップに浮上を果たすと、その 1 分後には DRAGON が 1 分 48 秒 170 で再び首位に返り咲く。さらには残り 3 分というところで齋藤が 1 分 48 秒 133 で再度逆転を果たすも、残り 1 分と

いうところで DRAGON が 1 分 48 秒 020 を叩き出し、これで勝負あったかと思われたファイナルラップで KENTARO が 1 分 47 秒 990 をマーク。ただひとりの 47 秒台を刻んだ KENTARO が初のポールポジションを獲得することとなった。2~6 番手には DRAGON、齋藤、鳥羽、赤松昌一郎、植田正幸が続いた。

ONIGI
RACING TEAM

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

RFC
RACING

SELVA
RACING



Report: Qualifying Round5-6

予選上位コメント：チャンピオンクラス

■ 予選 1 位 (第 5 戦 予選 1 位 / 第 6 戦 予選 1 位) 洞地 遼大 【#51 HFDP Racing Team】

「前回の富士 (第 1 戦 / 第 2 戦) も、トラブルで結果は出なかったものの速さはありませんでした。今大会も昨日まで (の練習走行は) 調子が良かったのでポールポジションを狙っていましたが、予選では少し緊張していたのかブレーキングミスなどがあり途中まではベストなアタックができていませんでした。“これはヤバい” と思いつつ、最後のアタックに挑みました。そこでうまくいったポールを獲得することができて、ホッとしています。(この後の) 決勝ではスタートから最後まで、一度も抜かれないレースをしたいです。とにかく優勝することだけを考えてプッシュし続けたいと思います」



■ 予選 2 位 (第 5 戦 予選 2 位 / 第 6 戦 予選 2 位) 森山 冬星 【#62 HELM MOTORSPORTS F4】

「昨日まで (の練習走行) の調子から考えると、今日はめちゃくちゃフィーリングが良くなっています。それが結果にも結びつきました。予選に向け変更したセットアップが良い方向に行けば、ポールポジションも狙えると思っていました。逆の可能性もありましたが、しっかりとハマりました。今年は絶対にチャンピオンを獲得つもりで、今回の富士がそのターニングポイントになると考えています。でもレースひとつひとつを大事に戦うことも重要なので、もちろん (この後の) 決勝では優勝を狙いますが、展開次第では着実に表彰台を獲得するレースをしたいです」



■ 予選 3 位 (第 5 戦 予選 3 位 / 第 6 戦 予選 3 位) 野村 勇斗 【#50 HFDP Racing Team】

「今回は木曜日から (練習走行の) 調子が悪く、昨日 (の練習走行) もニュータイヤで 7 番手という結果でした。その後にエンジニアさんと予選に向けてセットアップを見直した結果、3 番手まで順位を上げることができて良かったです。アタックの際の位置取りもうまくいって、ミスもなく、ベストを引き出すことができたと思います。それで 3 番手というのも悔しいですが、昨日までは本当に調子が悪かったので……。流れは悪くないと思うので、午後の決勝も落ち着いて臨みます」



Report: Qualifying Round5-6

予選上位コメント：インディペンデントクラス

■ 予選 1 位 (第 5 戦 予選 1 位 / 第 6 戦 予選 1 位) KENTARO 【#55 Baum Field F4】

「前回 (の富士第 2 戦) は初優勝することができたので、次 (今回の富士) は予選で 1 番を獲ってポール・トゥ・ウインを達成することを目標にしていました。まずは予選でトップが獲れて良かったです。富士はスポーツ走行がある日はほとんど来ていて、誰よりも (ここで) 練習を重ねてきました。その成果がタイムアップに繋がったと思います。(この後の) 決勝でも練習通りの走りに徹し、あまり無理をせずに頑張りたいと思います」



■ 予選 2 位 (第 5 戦 予選 2 位 / 第 6 戦 予選 3 位) DRAGON 【#30 B-MAX TEAM DRAGON】

「セクター 1 (コース序盤) がベストだったラップは、セクター 2 (同中盤) で引っかけました。そのタイムロスがなかったら、ポールポジションを獲れたのではないかと思います。ラストアタックも逆転のチャンスがありましたが、セクター 3 (コース終盤) でミスしてしまいました。今回の富士はストレートのスリップ (ストリーム) でコンマ 2~3 秒は稼げるので、そこもちょっときつかったですね。ただ (この後の) 決勝に向けては自信を持っています。富士は抜くことも抜かれることもありますが、その中でチャンピオンシップのことも考えて、クラッシュせずにポイントを確実に積み上げたいと思います」



■ 予選 3 位 (第 5 戦 予選 3 位 / 第 6 戦 予選 2 位) 齋藤 真紀雄 【#96 CS マーケティング AKILAND】

「前回の富士 (第 1 戦 / 第 2 戦) は電気系トラブルが出て気持ち良く走ることができませんでした。今回は持ち込み (事前セッティング) からクルマの調子は良いです。でも予選はちょっと力を出し切れなかったですね。(予選時間の) 前半はタイヤの内圧が低く、内圧をアジャストした後半はポールを狙えるレベルまでペースが上がったものの、あちこちでミスがあったり、最後は引っかけたりで、もったいなかったです。でも速さがあることは分かったので、(この後の) 決勝では優勝を目指します」





Result: Qualifying Round 5

発表 10:15

天候:曇り

路面:ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Time	Gap	Lap
チャンピオンクラス						
1	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP with B-Max Racing	1'45.988		10
2	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	1'46.108	0.120	11
3	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP with B-Max Racing	1'46.218	0.230	10
4	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	1'46.285	0.297	11
5	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	1'46.339	0.351	11
6	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	1'46.384	0.396	11
7	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	1'46.407	0.419	11
8	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	1'46.429	0.441	10
9	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	1'46.470	0.482	10
10	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	1'46.531	0.543	11
11	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	1'46.662	0.674	11
12	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	1'46.757	0.769	10
13	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	1'46.773	0.785	11
14	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	1'46.841	0.853	11
15	46	有村 将真/S.ARIMURA	アポロ電工フジタ薬局	1'47.250	1.262	11
16	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	1'47.273	1.285	10
17	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	1'47.382	1.394	11
18	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	1'47.663	1.675	11
19	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	1'47.838	1.850	9
20	64	Ho Ethan/E.Ho	HELM with TeamKRC	1'47.998	2.010	11
-----以上予選通過-----						
21	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	DNS		
インディペンデントクラス						
1	55	KENTARO	Baum Field F4	1'47.990		11
2	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	1'48.020	0.030	11
3	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	1'48.133	0.143	11
4	63	鳥羽 豊/Y.TORIBA	HELM MOTORSPORTS F4	1'48.251	0.261	11
*1	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	1'48.343	0.353	10
6	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	1'48.354	0.364	11
7	98	IKARI	Bionic Jack Racing	1'48.418	0.428	11
8	9	KEN ALEX	BUZZ RACING	1'48.472	0.482	10
9	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	1'48.841	0.851	11
10	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	1'48.846	0.856	11
11	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHU	1'48.931	0.941	11
12	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	1'49.018	1.028	3
13	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	1'49.061	1.071	11
14	10	中島 功/I.NAKASHIMA	Rn.SHINSEI.MCS4	1'49.065	1.075	10
15	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND	1'49.327	1.337	11
16	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	1'49.465	1.475	10
17	23	YUGO	S2R Racing	1'52.229	4.239	11
-----以上予選通過-----						

予選通過基準タイム (105%) : チャンピオンクラス 1'51.409 / インディペンデントクラス 1'53.450

チャンピオンクラス参加台数: 21台 出走台数: 20台

インディペンデントクラス参加台数: 17台 出走台数: 17台

* CarNo.9 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム(1'48.372)は採択されない。

* CarNo.71 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム(1'49.229)は採択されない。

*1 CarNo.40, 10は、L項第4章第4条c)d) (ピット入口ホワイトラインカット) 違反により、訓戒のペナルティを課す。





51	洞地 遼大 /R.HORACHI HFDP Racing Team	62	森山 冬星 /T.MORIYAMA HELM MOTORSPORTS F4
50	野村 勇斗 /Y.NOMURA HFDP Racing Team	34	清水 啓伸 /H.SHIMIZU Drago CORSE MCS4-24
38	梅垣 清 /K.UMEGAKI TGR-DC RS F4	97	白崎 稜 /R.SHIRASAKI Bionic Jack Racing
16	新原 光太郎/K.SHIMBARA YBS Verve 影山 MCS4	37	鈴木 斗輝哉 /T.SUZUKI TGR-DC RS F4
45	大宮 賢人/K.OMIYA PONOS RACING MCS4	35	佐野 雄城 /Y.SANO TGR-DC RS F4
60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI OTG DL F4CHALLENGE	54	佐藤 凜太郎 /R.SATO PONOS RACING MCS4
33	佐藤 樹/I.SATO Drago CORSE MCS4-24	87	下野 璃央 /R.SHIMONO Dr.Dry Racing Team
46	有村 将真 /S.ARIMURA フジタ薬局アポロ電工	36	卜部 和久 /K.URABE TGR-DC RS F4
77	松田 大輝 /D.MATSUDA WARMTECH SKILLSPEED	14	村田 将輝 /M.MURATA 湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
90	Lin Chenghua /C.Lin ATEAM Buzz Racing	64	Ho Ethan /E.Ho HELM MOTORSPORTS F4
55	KENTARO Baum Field F4	30	DRAGON B-MAX TEAM DRAGON
96	齋藤 真紀雄 /M.SAITO CS マーケティング AKILAND F110	63	鳥羽 豊 /Y.TORIBA HELM MOTORSPORTS F4
40	赤松 昌一朗 /S.AKAMATSU SHOEI-GIGS Ride with ES	11	植田 正幸 /M.UEDA Rn-sports MCS4
98	IKARI Bionic Jack Racing	9	KEN ALEX BUZZ RACING
86	大阪 八郎 /H.OSAKA Dr.Dry Racing Team	2	仲尾 恵史 /K.NAKAO TCS AKILAND
4	佐々木 祐一 /Y.SASAKI 仙台 DayDream with RICHU	61	SAKAI WILLIAM /W.SAKAI HELM MOTORSPORTS F4
10	中島 功 /I.NAKASHIMA Rn.SHINSEI MCS4	71	大山 正芳 /M.OYAMA ダイワ N 通商 AKILAND
5	小谷 素弘 /M.KOTANI TEAM 5ZIGEN F4	23	YUGO S2R Racing
44	今田 信宏 /N.IMADA JMS RACING with B-MAX		





Result: Qualifying Round 6

発表 10:15

天候:曇り

路面:ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Time	Gap	Lap
チャンピオンクラス						
1	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP with B-Max Racing	1'46.136		10
2	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	1'46.156	0.020	11
3	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP with B-Max Racing	1'46.290	0.154	10
4	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	1'46.398	0.262	11
5	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	1'46.478	0.342	10
6	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	1'46.513	0.377	10
7	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	1'46.523	0.387	11
8	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	1'46.532	0.396	11
9	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	1'46.577	0.441	11
10	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	1'46.624	0.488	11
11	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	1'46.749	0.613	11
12	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	1'46.783	0.647	11
13	87	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	1'46.911	0.775	11
14	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	1'46.917	0.781	10
15	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	1'47.306	1.170	10
16	46	有村 将真/S.ARIMURA	アポロ電工フジタ薬局	1'47.451	1.315	11
17	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	1'47.639	1.503	11
18	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	1'47.747	1.611	11
19	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	1'47.856	1.720	9
20	64	Ho Ethan/E.Ho	HELM with TeamKRC	1'48.171	2.035	11
-----以上予選通過-----						
22	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	FALCON MOTORSPORT	DNS		
インディペンデントクラス						
1	55	KENTARO	Baum Field F4	1'48.039		11
2	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	1'48.155	0.116	11
3	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	1'48.170	0.131	11
4	63	鳥羽 豊/Y.TORIBA	HELM MOTORSPORTS F4	1'48.269	0.230	11
*1	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	1'48.390	0.351	11
6	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	1'48.416	0.377	10
7	9	KEN ALEX	BUZZ RACING	1'48.558	0.519	10
8	98	IKARI	Bionic Jack Racing	1'48.781	0.742	11
9	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	1'48.852	0.813	11
10	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHO	1'48.979	0.940	11
11	10	中島 功/I.NAKASHIMA	Rn.SHINSEI.MCS4	1'49.069	1.030	10
12	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	1'49.183	1.144	11
13	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	1'49.313	1.274	11
14	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワN通商AKILAND	1'49.486	1.447	11
15	5	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	1'49.824	1.785	10
16	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	1'50.654	2.615	3
17	23	YUGO	S2R Racing	1'52.253	4.214	11
-----以上予選通過-----						

予選通過基準タイム (105%) : チャンピオンクラス 1'51.503 / インディペンデントクラス 1'53.527

チャンピオンクラス参加台数: 21台 出走台数: 20台

インディペンデントクラス参加台数: 17台 出走台数: 17台

* CarNo.9 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム(1'48.372)は採択されない。

* CarNo.71 - 一般競技規則第5章第17条3. (ランオフエリア走行) により、当該周回タイム(1'49.229)は採択されない。

*1 CarNo.40, 10は、L項第4章第4条c)d) (ピット入口ホワイトラインカット) 違反により、訓戒のペナルティを課す。





51	洞地 遼大 /R.HORACHI HFDP Racing Team	62	森山 冬星 /T.MORIYAMA HELM MOTORSPORTS F4
50	野村 勇斗 /Y.NOMURA HFDP Racing Team	34	清水 啓伸 /H.SHIMIZU Drago CORSE MCS4-24
37	鈴木 斗輝哉 /T.SUZUKI TGR-DC RS F4	45	大宮 賢人/K.OMIYA PONOS RACING MCS4
97	白崎 稜 /R.SHIRASAKI Bionic Jack Racing	38	梅垣 清 /K.UMEGAKI TGR-DC RS F4
16	新原 光太郎/K.SHIMBARA YBS Verve 影山 MCS4	35	佐野 雄城 /Y.SANO TGR-DC RS F4
60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI OTG DL F4CHALLENGE	33	佐藤 樹/I.SATO Drago CORSE MCS4-24
87	下野 璃央 /R.SHIMONO Dr.Dry Racing Team	54	佐藤 凜太郎 /R.SATO PONOS RACING MCS4
36	卜部 和久 /K.URABE TGR-DC RS F4	46	有村 将真 /S.ARIMURA フジタ薬局アポロ電工
77	松田 大輝 /D.MATSUDA WARMTECH SKILLSPEED	14	村田 将輝 /M.MURATA 湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24
90	Lin Chenghua/C.Lin ATEAM Buzz Racing	64	Ho Ethan/E.Ho HELM MOTORSPORTS F4
55	KENTARO Baum Field F4	96	齋藤 真紀雄 /M.SAITO CS マーケティング AKILAND F110
30	DRAGON B-MAX TEAM DRAGON	63	鳥羽 豊 /Y.TORIBA HELM MOTORSPORTS F4
11	植田 正幸 /M.UEDA Rn-sports MCS4	40	赤松 昌一朗 /S.AKAMATSU SHOEI-GIGS Ride with ES
9	KEN ALEX BUZZ RACING	98	IKARI Bionic Jack Racing
4	佐々木 祐一 /Y.SASAKI 仙台 DayDream with RICHU	10	中島 功 /I.NAKASHIMA Rn.SHINSEI MCS4
86	大阪 八郎 /H.OSAKA Dr.Dry Racing Team	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI HELM MOTORSPORTS F4
71	大山 正芳 /M.OYAMA ダイワ N 通商 AKILAND	5	小谷 素弘 /M.KOTANI TEAM 5ZIGEN F4
23	YUGO S2R Racing	44	今田 信宏 /N.IMADA JMS RACING with B-MAX





Report: Final Race Round 5



**ポール・トゥ・ウインで洞地遼大が初優勝！
INDP は逆転で鳥羽豊が今季初優勝を飾る**

薄曇りであった富士スピードウェイの上空から強い日差しが照りつけるようになった午後 0 時 15 分、FIA-F4 選手権第 5 戦のフォーメーションラップがオンタイムで始まった。

37 台が出走して 14 周で争われるこのレース、ポールポジションに洞地遼大、2 番手に森山冬星、3 番手に野村勇斗、4 番手に清水啓伸、5 番手に梅垣清、6 番手に白崎稜が並んでのスタートを迎えたが、上位陣は揃ってまずまずの動きだし。ポールシッターの洞地が 1 コーナーをトップでクリアし、これに森山が続いたが、その背後では清水が野村をかわして 3 番手に浮上も、野村はコカコーラ・コーナーで 3 番手を奪い返し、5 番手に梅垣、さらにはスタートでポジションを上げた鈴木斗輝哉が 6 番手に浮上した。



2 番手森山にコンマ 5 秒差をつけてオープニングラップをトップで終えた洞地は、そこからじりじりとギャップを拡大していく。2 番手森山も食らいつくが、序盤は 1 周ごとにコンマ 2 秒ほど洞地のペースが上回り、その差は 4 周で 1 秒を超える。一方、3 番手の野村は背後の清水に再三にわたって並びかけられる苦しい展開を強いられることとなり、序盤から森山にプレッシャーをかけることはできず、逆に前とのギャップが広がっていってしまう。



ONIGI
RACING TEAM

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SEMPA
RACING



Report: Final Race Round 5



こうしてレース半ばにはこう着状態となっていた上位陣とは対照的に、その背後では鈴木、梅垣、白崎、新原光太郎らが常に接近戦を演じるが、混戦ゆえにトップ4とのギャップは徐々に拡大していくことに。この集団の中では終盤にかけて白崎が徐々にポジションを上げていく。

結局 2 戦連続で SC 出動のない展開となる中、終盤まで 2 秒前後のギャップを維持し続けた洞村がポール・トゥ・ウインで嬉しい初優勝。2 位に森山、3 位に清水の攻勢をしのぎ切った野村が続き、清水が 4 位に。ファイナルラップに鈴木を捉えた白崎が 5 番手でチェッカーを受けたが、序盤の攻防の中でコース外からの追い越し行為があっ

たとしてレース後に 5 秒加算のタイムペナルティを受けて 8 位に降格することとなり、鈴木、梅垣、新原が 5~7 位に繰り上がることとなった。





Report: Final Race Round 5

一方、インディペンデントクラスでは、こちらも初ポールポジションとなった KENTARO を筆頭に、DRAGON、齋藤真紀雄、鳥羽豊、赤松昌一朗、植田正幸らが上位グリッドに並ぶこととなったが、スタートでは KENTARO がポジションキープも、1 コーナーで DRAGON と齋藤が接触し、DRAGON は再スタートも最後尾までドロップしてしまい、代わって赤松、鳥羽が 2~3 番手に浮上し、以下齋藤、IKARI、植田がトップ 6 というオーダーとなった。

出遅れたチャンピオンクラスの車両が時折間に割って入ってくるものの、インディペンデントクラスの上位争いは大きな変動のないまま、KENTARO、赤松、鳥羽といったオーダーで進んだが、5 周目に赤松が 5 番手までポジションを落としたほか、1 周目の接触により 4 番手の齋藤にはドライブスルーペナルティーの裁定が下されるが、齋藤はピットインせずレースを続行、H 項違反 (D ボード無視) により失格となってしまふ。10 周を終えてようやく齋藤がピットインしたこともあり、インディペンデントクラスの 4 番手以降には KEN ALEX、今田信宏、赤松らが浮上することとなったが、11 周目にはじりじりとトップとの間合いを詰めていた鳥羽が KENTARO を捕らえ逆転に成功し、トップに浮上する。鳥羽は残る周回、喰らいつく KENTARO を押さえて 14 周を逃げ切り、見事今季初優勝。終盤までレースをリードしていた KENTARO は 2 勝目ならず 2 位となり、3 位には植田が入り、4~6 位には KEN ALEX、今田、赤松が続いた。



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SELPHY
RACING





Report: Final Race Round 5

第5戦 決勝上位コメント：チャンピオンクラス

■決勝1位 洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】

「去年1年間プライベートチームで戦って、惜しいレースがいくつかあったものの結果を出すことができませんでした。2年目でやっと優勝することができて嬉しいです。初めてのポールポジションからのスタートということで緊張しましたが、いつも通りやれば大丈夫だと思っていました。その後、すぐに2位を引き離すことができたので、後は自分のペースで最後まで走り切ることができました。明日（第6戦）も同じくポールからのスタートなので、2連勝できるよう頑張ります」



■決勝2位 森山 冬星【#62 HELM MOTORSPORTS F4】

「序盤が勝負どころだと思ってプッシュしましたが、レースペースはあまり良くなかったです。その状況で、富士で最後まで2位をキープできたのは良かったです。やはり1位が欲しかった。悔しいです。この先は優勝がなければチャンピオン争いに残ることはできないので、次こそなんとかしたい。明日のレース（第6戦）まで時間はまだあるので、チームとしっかりミーティングをして改善点を見つけたいと思います」



■決勝3位 野村 勇斗【#50 HFDP Racing Team】

「スタートはストールして遅れてしまいましたが、1コーナーでなんとか巻き返すことができました。そこから前を追いかかったのですが、ペースがそれほど良くなって、守る一方のレース展開になったのは悔しいです。調子が悪かった昨日から予選に関しては改善できていましたが、レースペースはまた別。フィーリング自体はそれほど悪くないものの、ペースはなかったです。チャンスも何度かありましたが、そこも活かすことができませんでした。今日のデータをもとにセッティングを見直して、明日（第6戦）こそ3番手からスタートできるチャンスを生かせるようにしたいです」





Report: Final Race Round 5

第5戦 決勝上位コメント：インディペンデントクラス

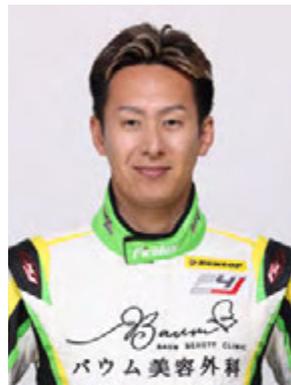
■決勝1位 鳥羽 豊【#63 HELM MOTORSPORTS F4】

「(富士では) 久しぶりのレースだったので、まずはスタート順位の4位を守り切ることが目標でした。でも走り出してみたら混乱が生じて前に出ることができて、そこからはトップを狙って走りました。でも KENTARO 選手もめちゃくちゃ速くて、何度か仕掛けてみたものの全く抜くことができなくて、最後はヘアピンで合わせて B コーナー (ダンロップコーナー) で無理やり飛び込んで、なんとか抜くことができました。久しぶりに良いバトルができて、チェッカーまですごく楽しかったです。明日 (第6戦) も闘志を燃やして頑張ります」



■決勝2位 KENTARO【#55 Baum Field F4】

「スタートをうまく決めることができ、その後もしばらくは調子良くトップを走っていたのですが、チャンピオンクラスの若手と抜きつ抜かれつのバトルをしている間に鳥羽選手がどんどん近づいてきて、必死に守ろうとしましたが最後は抜かれてしまいました。再逆転に向けそこからプッシュしましたが、レースペースは鳥羽選手の方が速く追いつけませんでした。明日 (第6戦) もポールスタートなので、今日の経験を活かして今度こそポール・トゥ・ウインを達成したいです」



■決勝3位 植田 正幸【#11 Rn-sports MCS4】

「今年は KENTARO 選手はじめ、速いライバルが増えて “ヤバいな” と思っています。今日は朝の予選でスピンしてしまい6番手からのスタートでしたが、すると3番手まで浮上できたのは良かったです。でもそこからは KENTARO 選手も鳥羽選手も速くて……。内心、2人でやらかしてくれないかなと思っていたのですが (笑)、クリーンなバトルをしていたので無理でしたね。3位でラッキーだと思います。この今季初表彰台をきっかけに、チャンピオン争いの方も巻き返していきたいです」





Result: Final Race Round 5

発表 18:25

天候:曇り

路面:ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Lap	Time	Gap	Best Lap
チャンピオンクラス							
1	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP with B-Max Racing	14	24'56.359		1'46.892
2	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	14	24'58.418	2.059	1'47.100
3	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP with B-Max Racing	14	24'59.446	3.087	1'47.138
4	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	14	24'59.830	3.471	1'46.882
5	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	14	25'04.891	8.532	1'47.345
6	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	14	25'05.695	9.336	1'47.225
7	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	14	25'06.272	9.913	1'47.277
*1	8	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	14	25'09.718	(25'04.718+5秒)	1'47.050
	9	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	14	25'16.398	20.039	1'47.569
	10	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	14	25'17.027	20.668	1'47.546
*2	11	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	14	25'17.234	(25'12.234+5秒)	1'47.213
	12	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	14	25'22.574	26.215	1'47.697
	13	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	14	25'23.779	27.420	1'47.852
	14	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	14	25'25.717	29.358	1'48.056
	15	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	14	25'30.671	34.312	1'48.580
	16	Ho Ethan/E.Ho	HELM with TeamKRC	14	25'36.441	40.082	1'48.729
	17	有村 将真/S.ARIMURA	アポロ電工フジタ薬局	14	25'50.052	53.693	1'48.354
*4	18	佐藤 凛太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	14	26'01.907	(25'21.907+40秒)	1'47.347
	19	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	14	26'03.713	1'07.354	1'48.189
	20	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	13	23'31.883	1Lap	1'48.021

-----以上完走-----

インディペンデントクラス							
	22	鳥羽 豊/Y.TORIBA	HELM MOTORSPORTS F4	14	25'32.435		1'48.321
	23	KENTARO	Baum Field F4	14	25'32.848	0.413	1'48.449
	24	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	14	25'35.322	2.887	1'48.387
	25	KEN ALEX	BUZZ RACING	14	25'38.344	5.909	1'48.514
	26	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	14	25'39.197	6.762	1'48.843
	27	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	14	25'42.572	10.137	1'48.946
	28	中島 功/I.NAKASHIMA	Rn.SHINSEI.MCS4	14	25'46.179	13.744	1'48.851
*3	29	IKARI	Bionic Jack Racing	14	25'50.468	(25'45.468+5秒)	1'49.141
	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	14	25'54.446	22.011	1'48.608
	31	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	14	25'55.760	23.325	1'49.557
	32	仲尾 恵史/K.NAKAO	TCS AKILAND	14	25'58.005	25.570	1'49.650
	33	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワ通商AKILAND	14	26'03.782	31.347	1'49.557
	34	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHO	14	26'04.008	31.573	1'49.230
	35	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	14	26'20.817	48.382	1'51.174
	36	YUGO	S2R Racing	14	26'27.464	55.029	1'51.240
*5	37	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	14	26'32.223	(26'22.223+10秒)	1'50.470

-----以上完走-----

*6	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND			失格	
----	----	----------------	------------------	--	--	----	--

チャンピオンクラス参加台数: 21台 出走台数: 20台 完走台数: 20台

インディペンデントクラス参加台数: 17台 出走台数: 17台 完走台数: 16台

チャンピオンクラスベストラップ: 34 清水 啓伸/H.SHIMIZU 1'46.882 (7 / 14) 153.691 km/h

インディペンデントクラスベストラップ: 63 鳥羽 豊/Y.TORIBA 1'48.321 (7 / 14) 151.649 km/h

レース終了後に黒白旗通知(13:41 CarNo.90 走路外走行複数回)

レース終了後に黒白旗通知(13:45 CarNo.60 走行マナー)

*1 CarNo.97は、シリーズ規則第19条2.(走路外追い越し)違反により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。

*2 CarNo.45は、シリーズ規則第19条4.(走路外追い出し)違反により、タイムペナルティ5秒を課す。

*3 CarNo.98は、シリーズ規則第15条1.1)2.(他車への衝突+コースアウト)違反により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。

*4 CarNo.54は、シリーズ規則第15条1.1)(衝突を起こしたもの)違反により、競技結果に対して40秒加算のペナルティを課す。

*5 CarNo.61は、シリーズ規則第15条1.1)(衝突を起こしたもの)違反により、競技結果に対して10秒加算のペナルティを課す。

*6 CarNo.96は、シリーズ規則第15条1.1)(衝突を起こしたもの)違反により、ドライビングスルーペナルティを課す。

CarNo.96は、シリーズ規則第6条9.(レフトレーンの速度規制)違反により、訓戒とする。

CarNo.96は、H項(Dボード無視)違反により、失格とする。





Report: Final Race Round 6



逆転で高速バトル制した清水啓伸が初優勝！ INDP は KENTARO がポール・トゥ・ウイン

午前 8 時 40 分というフォーメーションラップの開始時間ながら、ぐんぐん気温が上昇する中で迎えた 8 月 4 日日曜の第 6 戦決勝。前日同様 14 周のこのレースには、仲尾恵史が体調不良からリタイアを選択したことで、チャンピオンクラス 20 台、インディペンデントクラス 16 台の合計 36 台が出走することとなった。

この日もポール・トゥ・ウインを狙う洞地遼大、フロントロウにつけた森山冬星、さらには野村勇斗、清水啓伸、鈴木斗輝哉、大宮賢人までが上位 6 グリッドに並び、1 周のフォーメーションラップののち、午前 8 時 43 分にレッドシグナルが消灯、各車一斉にスタートとなったが、ポールの洞地、森山はまずまずの動きだしながら、2 列目の野村、清水が好スタート。そのため、1 コーナーでは野村が 2 番手に浮上し、3 番手は森山と清水が並走して争うという展開に。



その後ろには大宮、新原光太郎が続く。

しかし、この直後のコココーラ・コーナーヘトッパで飛び込んだ洞地が痛恨のコースオフを喫し、なんとかコース復帰を果たしたものの、野村、清水の先行を許すこととなり、さらにヘアピンでは森山の後塵をも押し 4 番手に後退。これで野村、清水、森山がトップ 3 に。洞地も負けじとダンロップコーナーで森山に並びかけるが、立ち上がりで再び森山が先行、さらに鈴木もこの攻防に絡んでいく。

ところが、その直後ダンロップコーナーで中団グループの密集の中でト部和久に下野璃央が追突する形となり、両者がダンロップコーナーの中でストップ。



ONTAGI
RACING TEAM

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SEIPYU
RACING



Report: Final Race Round 6



トップのマシンに下野の車両が乗り上げる形となってしまったほか、このアクシデントを避けようとした有村将真がスピン、さらに Lin Chenghua に鳥羽豊が追突するなど、二次災害的にダンロップコーナーでは複数のアクシデントが発生。このため、2 レースぶりのセーフティカーがオープニングラップに導入されることとなった。

この時点での上位陣のオーダーは、野村、清水、最終コーナーで森山をかわした鈴木、森山、洞地、新原がトップ 6 となったが、車両回収を終えセーフティカーが消灯したのは 5 周目。レースは 6 周目からリスタートを迎えた。

トップの野村はセクター 3 の比較的早いタイミングで加速をスタートも、うまく清水を引き離してリスタートに成功、トップを守って 1 コーナーをクリアする。上位陣の背後では白崎稜が佐野雄城をパス、さらに佐藤稟太郎も佐野を 1 コー

ナーでかわしてポイント圏内にポジションアップを果たすと、最終コーナー立ち上がりでは 9 番手の白崎に並びかけるが、白崎もスリップを活かして 1 コーナーで再びポジションを奪い返す。

7 周目、トップ野村以下、8 番手の大宮までコンマ数秒差の接近戦となるが、ダンロップコーナーで大宮が梅垣清をパスして 7 番手に浮上。さらにこの週のセクター 3 で野村との間合いを詰めた清水がスリップを活かして 8 周目の 1 コーナーでトップに浮上。しかし、1~2 コーナーでアウトに膨らんだ清水のインを突いて野村がトップを奪還する。さらにその背後ではコカコーラコーナーで洞地が森山を捕らえて 4 番手につける。

続く 9 周目、再びトップ野村のスリップを奪った清水が 1 コーナーで再びトップに。野村もアウト側で粘るが僅かにコースオフ、2 コーナー立ち上がりで完全に清水が前に出て、野村には 3 番手鈴木が肉薄することに。野村はなんとか 2 番手を守ろうとするが、100R からヘアピンにかけて鈴木に並びかけられ、さらには洞地、森山も接近し数台での 2 番手争いとなった。

ところが、2 番手を守ったままダンロップコーナーヘアローチした野村の背後で、洞地とのブレーキング勝負で並走しながらコーナーへ進入した鈴木が野村のリアに接触してしまい、野村はたまたまスピン。これで野村はポイント圏外へ大きく後退してしまい、トップ 6 は清水、洞地、鈴木、森山、大宮、新原というオーダーに。しかし、翌 10 周目の 1 コーナーでは森山が鈴木をパスして 3 番手、さらにダンロップコーナーでは大宮が鈴木を抜いて 4 番手を奪うこととなった。

上位陣のバトルはまだまだ終わらず、11 周目の 1 コーナーでは佐藤稟太郎が鈴木を捕らえて 5 番手に。勢いに乗る佐藤稟太郎は 13 周目のストレートでスリップから抜け出て 1 コーナーで大宮をかわし 4 番手に。



OTINGI
BRAND TV ONLINE INFORMATION SYSTEM

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SEMPA
RACING



Report: Final Race Round 6



そしてついに迎えたファイナルラップ、トップ清水は僅差ながらも洞地からトップを守って1コーナーをクリア。しかしその背後では洞地と森山のバトルは続いており、コカコーラコーナーで2台は並走してコーナーへ飛び込むが、ここで森山は痛恨のスピンを喫してしまう。これで佐藤凜太郎、大宮賢人らがポジションを上げ、森山はポイント圏外へ脱落することに。こうして波乱のレースを逃げ切った清水がコンマ7秒差で逃げ切り、逆転で嬉しいシリーズ初優勝。2位に洞地。しかし、3番手でチェッカーを受けた佐藤凜太郎には、大宮をパスしたシーンが走路外追い越しと判定され5秒のタイムペナルティーを課せられ6位に降格となり、繰り上がった大宮が3位表彰台に立つことに。4~5位には新原、梅垣が入っている。

インディペンデントクラスでもアクシデントの影響で波乱含みの戦いとなったが、スタートではポールシッターの KENTARO がまずまずの動きでトップをキープ。これに齋藤真紀雄、DRAGON、鳥羽豊らが続いた一方、5番グリッドの植田正幸は大きく出遅れてしまい、代わって IKARI、中島功、赤松昌一朗、KEN ALEX らがポジションを上げる。

ところが、KENTARO を先頭にダンロップコーナーに進入したインディペンデントクラスだったが、前述したようにチャンピオンクラスのアクシデントがコーナー内で発生したことで、このストップ車両を避けようとブレーキングしたチャンピオンクラスの車両にクラス2番手の鳥羽が追突してしまう。

このため、セーフティカーが入った段階では KENTARO、鳥羽、齋藤、IKARI、中島、DRAGON がトップ6のオーダーであったが、このセーフティカーランの間に、追突により損傷を受けていた鳥羽のフロントウイングが脱落してしまうことに。

そして迎えた6周目のリスタート。トップの KENTARO は首位をキープするも、フロントウイングを失った鳥羽は徐々にポジションを落とすこととなり、7周目にはピットインしてリタイア。これで齋藤、IKARI、中島、さらには最後尾から追いつけてきた今田信宏、DRAGON が新たなトップ6を形成するが、怒涛の追い上げを見せる今田は8周目には中島、IKARI を攻略し3番手に躍進を果たしたほか、DRAGON も9周目に4番手にまでポジションを上げる。

しかし、リスタートからスパートした KENTARO は2番手の齋藤以下に詰め寄られることなく、そのまま逃げ切ってポール・トゥ・ウィンで今季2勝目をマーク。2位には齋藤が入り、最後齋藤に対しコンマ6秒差にまで詰め寄った今田が3位表彰台をもぎ取った。なお、4~6位には DRAGON、IKARI、中島が入っている



OTGI
ORGANIZATION OF TORAY CARBON MAGIC IN JAPAN

DUNLOP

TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SEMPA
RACING

Report: Final Race Round 6

第6戦 決勝上位コメント：チャンピオンクラス

■決勝1位 清水 啓伸【#34 Drago CORSE MCS4-24】

「初優勝できたことは嬉しいですが、今後を見据えると不安な部分もあります。展開次第で勝てると自信を持って挑んだレースでしたが、野村選手とのバトルでタイヤをロックさせてしまい、後半はブレーキングにかなり苦戦しました。(次大会は)前回苦戦した鈴鹿なので速いライバルたちと戦うためには、予選の戦い方を含め、もっと改善が必要だと思います。でも今回の勝利で、良い方向が見つかったことも確か。それを鈴鹿にうまく合わせこめるようチームとしっかりコミュニケーションをとって、鈴鹿でも勝利できるよう頑張ります」



■決勝2位 洞地 遼大【#51 HFDP Racing Team】

「前に富士の1コーナーでのバトルで接触しそうになったので、今回は1周目だったこともあり避けようとした結果、順位を落とすことに。その後のレースペースも昨日(第5戦)ほどではなく、ストレートが遅かったことで、そこからなかなか挽回できず終わってしまいました。次の鈴鹿は2連勝するつもりで挑みます」



■決勝3位 大宮 賢人【#45 PONOS RACING MCS4】

「(予選)6位でスタートして、1周目に混乱に飲み込まれてポジションを落としたのがもったいなかったですね。でも後半のペースは良く、前についていたことで、アクシデントによって順位が上がり、最後はチームメイトの佐藤選手に抜かれながらも繰り上げで3位。決して理想的な3位ではないですが、単純に3位表彰台は嬉しいです。今季は練習走行での調子の良さに対し予選、決勝でかみ合わないという展開が続いていますが、この3位をきっかけに、次はもっと上を目指したいと思います」



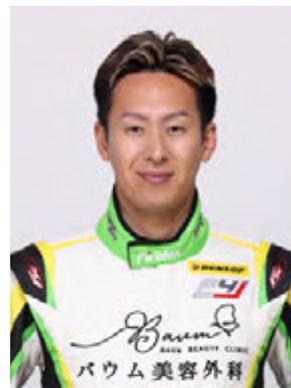


Report: Final Race Round 6

第6戦 決勝上位コメント：インディペンデントクラス

■決勝1位 KENTARO【#55 Baum Field F4】

「やっとポール・トゥ・ウィンを達成することができました。1番になりたいと思ってここまで練習を重ねてきたので、実力で目標を叶えることができ良かったです。昨日（第5戦）は最後に抜かれてしまったので、今日は抜かれなくて終わりたいと思っていました。どうすればそうなるのかは分かりませんでしたが、とにかく落ち着いて頑張ろうと。その結果、有難いことに後ろが離れてくれたので、余裕を持って走ることができました。このまま常に表彰台に乗り続けて、ランキングトップでシーズンを終えたいです」



■決勝2位 齋藤 真紀雄【#96 CS マーケティング AKILAND】

「スタートは悪くなかったのですが、1周目のBコーナー（ダンロップコーナー）でズバツと抜かれてしまいました。その後、前の鳥羽選手が戦列を離れた（接触によるFウイング脱落でリタイヤ）ことで再び2番手に浮上し KENTARO 選手を追う展開になったのですが、KENTARO 選手の安定した走りに対し自分は散らかってしまい、結局ぶつちぎられてしまいました。（予選）2位スタートなので勝ちたかったのですが、残念です。でも最後まで気持ちよく走ることができて、楽しかったです。今季はまだ勝っていないので、次の鈴鹿は得意な方だし、そこで今季初優勝したいです」



■決勝3位 今田 信宏【#44 JMS RACING with B-MAX】

「予選で失敗して今日も最後尾からのスタートでしたが、1周目の混乱の中でポジション取りがうまく行って、一気に10台くらい抜くことができたのが大きかったです。バトルには慣れているので、こういう展開になると自分に有利なのかなと思いました。昨日（第5戦）は最後尾スタートから5位。今日はもうちょっと上まで行けたらと思っていたので、3位は上出来です。次の鈴鹿は得意なコースということで、2連勝を目指します」





Result: Final Race Round 6

発表 11:25

天候:曇り

路面:ドライ

Rank	Car No.	Driver	Entrant/Team	Lap	Time	Gap	Best Lap
チャンピオンクラス							
1	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	Drago CORSE MCS4-24	14	30'10.018		1'47.146
2	51	洞地 遼大/R.HORACHI	HFDP with B-Max Racing	14	30'10.770	0.752	1'46.818
3	45	大宮 賢人/K.OMIYA	PONOS RACING MCS4	14	30'14.586	4.568	1'47.014
4	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	YBS Verve 影山 MCS4	14	30'16.891	6.873	1'47.566
5	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	TGR-DC RS F4	14	30'17.299	7.281	1'47.212
*1	6	佐藤 凛太郎/R.SATO	PONOS RACING MCS4	14	30'18.722	8.704	1'46.885
7	35	佐野 雄城/Y.SANO	TGR-DC RS F4	14	30'19.458	9.440	1'47.221
8	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	HFDP with B-Max Racing	14	30'19.571	9.553	1'46.987
9	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	OTG DL F4CHALLENGE	14	30'19.646	9.628	1'47.374
10	33	佐藤 樹/I.SATO	Drago CORSE MCS4-24	14	30'19.917	9.899	1'47.372
11	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	HELM MOTORSPORTS F4	14	30'21.939	11.921	1'46.610
*2	12	白崎 稜/R.SHIRASAKI	Bionic Jack Racing	14	30'23.100	13.082	1'47.333
13	64	Ho Ethan/E.Ho	HELM with TeamKRC	14	30'23.945	13.927	1'47.776
14	46	有村 将真/S.ARIMURA	アポロ電工フジタ薬局	14	30'42.206	32.188	1'47.812
15	77	松田 大輝/D.MATSUDA	WARMTECH SKILLSPEED	14	30'47.710	37.692	1'48.111
*4	16	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	TGR-DC RS F4	14	30'58.047	48.029	1'47.687
17	14	村田 将輝/M.MURATA	湘工冷熱 ZAP SPEED MCS4-24	14	31'20.693	1'10.675	1'48.369
			-----以上完走-----				
18	36	卜部 和久/K.URABE	TGR-DC RS F4	0			
19	90	Lin Chenghua/C.Lin	ATEAM Buzz Racing	0			
*4	20	下野 璃央/R.SHIMONO	Dr.Dry Racing Team	0			
インディペンデントクラス							
22	55	KENTARO	Baum Field F4	14	30'32.789		1'48.560
23	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	CSマーケティングAKILAND	14	30'35.473	2.684	1'48.407
24	44	今田 信宏/N.IMADA	JMS RACING with B-MAX	14	30'36.086	3.297	1'48.375
25	30	DRAGON	B-MAX TEAM DRAGON	14	30'36.781	3.992	1'48.370
26	98	IKARI	Bionic Jack Racing	14	30'42.253	9.464	1'49.150
27	10	中島 功/I.NAKASHIMA	Rn.SHINSEI.MCS4	14	30'42.524	9.735	1'48.728
28	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	SHOEI-GIGS Ride with ES	14	30'43.263	10.474	1'48.800
29	11	植田 正幸/M.UEDA	Rn-sports MCS4	14	30'45.177	12.388	1'48.477
30	71	大山 正芳/M.OYAMA	ダイワフン通商AKILAND	14	30'51.427	18.638	1'49.044
31	9	KEN ALEX	BUZZ RACING	14	30'51.771	18.982	1'48.434
*3	32	小谷 素弘/M.KOTANI	TEAM 5ZIGEN F4	14	30'52.447	19.658	1'49.156
33	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	HELM MOTORSPORTS F4	14	30'52.798	20.009	1'49.010
34	86	大阪 八郎/H.OSAKA	Dr.Dry Racing Team	14	30'56.360	23.571	1'49.859
35	4	佐々木 祐一/Y.SASAKI	仙台DayDream with RICHO	14	31'08.452	35.663	1'50.065
36	23	YUGO	S2R Racing	14	31'12.648	39.859	1'51.512
			-----以上完走-----				
	63	鳥羽 豊/Y.TORIBA	HELM MOTORSPORTS F4	7	18'31.816	7Laps	1'57.395

チャンピオンクラス参加台数: 21台 出走台数: 20台 完走台数: 17台

インディペンデントクラス参加台数: 17台 出走台数: 16台 完走台数: 15台

チャンピオンクラスベストラップ: 62 森山 冬星/T.MORIYAMA 1'46.610 (11 / 14) 154.083 km/h

インディペンデントクラスベストラップ: 30 DRAGON 1'48.370 (11 / 14) 151.581 km/h

SC導入時刻 8:45:40(0Lap)~8:57:56(4Lap)

*1 CarNo.54は、シリーズ規則第19条2.(走路外追い越し)違反により、タイムペナルティ5秒を課す。

*2 CarNo.97は、リスタート違反により、タイムペナルティ5秒を課す。

*3 CarNo.5は、H項違反(黄旗1本区間での追い越し)により、競技結果に対して5秒加算のペナルティを課す。

*4 CarNo.37, 87は、シリーズ規則第15条1.1) (衝突を起こしたもの) 違反により、競技結果に対して40秒加算のペナルティを課す。





Result: Point Standings-1

■ ドライバー ランキング

Rank	Car No.	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12	Rd.13	Rd.14	Total
			5/3	5/4	6/3	6/4	8/5	8/6	8/26	8/27	9/16	9/17	10/14	10/15	11/4	11/5	
			FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOILIS		MOTEGI		
1	51	洞地 遼大/R.HORACHI	15	0	18	15	25	18									91
2	50	野村 勇斗/Y.NOMURA	18	0	25	25	15	4									87
3	34	清水 啓伸/H.SHIMIZU	12	18	10	10	12	25									87
4	62	森山 冬星/T.MORIYAMA	0	25	12	18	18	0									73
5	16	新原 光太郎/K.SHIMBARA	0	12	15	12	6	12									57
6	35	佐野 雄城/Y.SANO	25	0	0	8	1	6									40
7	38	梅垣 清/K.UMEGAKI	0	0	2	6	8	10									26
8	45	大宮 賢人/K.OMIYA	0	0	6	4	0	15									25
9	33	佐藤 樹/I.SATO	0	15	1	0	2	1									19
10	54	佐藤 凜太郎/R.SATO	0	0	8	2	0	8									18
11	37	鈴木 斗輝哉/T.SUZUKI	6	0	0	0	10	0									16
12	36	卜部 和久/K.URABE	10	0	4	1	0	0									15
13	60	熊谷 憲太/K.KUMAGAI	1	10	0	0	0	2									13
14	97	白崎 稜/R.SHIRASAKI	8	0	0	0	4	0									12
15	26	三枝 拓己/T.SAIGUSA	4	6	0	0	—	—									10
16	10	小松 響/H.KOMATSU	0	8	—	—	—	—									8
17	77	松田 大輝/D.MATSUDA	2	4	0	0	0	0									6
18	64	HIROBON	0	2	0	0	—	—									2
19	90	Lin Chenghua/C.Lin	0	1	0	0	0	0									1

■ インディペンデントカップ ランキング

Rank	Car No.	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12	Rd.13	Rd.14	Total
			5/3	5/4	6/3	6/4	8/5	8/6	8/26	8/27	9/16	9/17	10/14	10/15	11/4	11/5	
			FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOILIS		MOTEGI		
1	55	KENTARO	12	25	15	6	18	25									101
2	30	DRAGON	25	0	18	25	2	12									82
3	44	今田 信宏/N.IMADA	—	—	25	18	10	15									68
4	96	齋藤 真紀雄/M.SAITO	6	18	12	10	0	18									64
5	98	IKARI	15	10	6	2	4	10									47
6	11	植田 正幸/M.UEDA	—	—	8	12	15	4									39
7	10	中島 功/I.NAKASHIMA	—	—	10	15	6	8									39
8	40	赤松 昌一朗/S.AKAMATSU	8	8	4	0	8	6									34
9	63	鳥羽 豊/Y.TORIBA	—	—	0	8	25	0									33
10	2	仲尾 恵史/K.NAKAO	18	1	0	4	0	0									23
11	9	KEN ALEX	2	6	0	1	12	1									22
12	5	小谷 泰弘/M.KOTANI	4	15	0	0	1	0									20
13	86	大阪 八郎/H.OSAKA	1	12	0	0	0	0									13
14	71	大山 正秀/M.OYAMA	10	0	0	0	0	2									12
15	23	YUGO	0	4	1	0	0	0									5
16	61	SAKAI WILLIAM/W.SAKAI	0	2	2	0	0	0									4





Result: Point Standings-2

■ チーム ランキング (チャンピオンクラス) ※各チーム最上位車のみ計上

Rank	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12	Rd.13	Rd.14	Total
		5/3	5/4	6/3	6/4	8/5	8/6	8/26	8/27	9/16	9/17	10/14	10/15	11/4	11/5	
		FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	HFDP WITH B-Max Racing Team	18	0	25	25	25	18									111
2	Drago CORSE	12	18	10	10	12	25									87
3	HELM MOTORSPORTS	0	25	12	18	18	0									73
4	TGR-DC Racing School	25	0	4	8	10	10									57
5	HYDRANGEA Kageyama Racing	0	12	15	12	6	12									57
6	PONOS RACING	0	0	8	4	0	15									27
7	OTG MOTOR SPORTS	1	10	0	0	0	2									13
8	Bionic Jack Racing	8	0	0	0	4	0									12
9	FALCON MOTORSPORT	4	6	0	0	-	-									10
10	Rn-sports	0	8	0	0	0	0									8
11	スキルスピード	2	4	0	0	0	0									6
12	AKILAND RACING	0	1	0	0	0	0									1

■ チーム ランキング (インディペンデントクラス) ※各チーム最上位車のみ計上

Rank	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12	Rd.13	Rd.14	Total
		5/3	5/4	6/3	6/4	8/5	8/6	8/26	8/27	9/16	9/17	10/14	10/15	11/4	11/5	
		FUJI		SUZUKA		FUJI		SUZUKA		SUGO		AUTOPOLIS		MOTEGI		
1	FIELD MOTORSPORT	12	25	15	6	18	25									101
2	B-MAX RACING TEAM	25	0	25	25	10	15									100
3	AKILAND RACING	18	18	12	10	0	18									76
4	Rn-sports	-	-	10	15	15	8									48
5	Bionic Jack Racing	15	10	6	2	4	10									47
6	HELM MOTORSPORTS	0	2	2	8	25	0									37
7	イーグルスポーツ	8	8	4	0	8	6									34
8	Buzz Racing	2	6	0	1	12	1									22
9	TeamSZIGEN	4	15	0	0	1	0									20
10	Dr.Dry	1	12	0	0	0	0									13
11	N-SPEED	0	4	1	0	0	0									5



TOM'S

TORAY
Toray Carbon Magic

BRIDE

ENDLESS
Challenge to the Future

FERODO
RACING

PETRONAS
Syntium

PFC
RACING

SEIPRA
RACING